

| | | | | | |
|------|-----------|-----------|-------------|--------|------|
| 講義名 | 専門基礎演習（商） | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 長坂 泰之 | 開講期・曜日・時限 | 前期 月曜日 1 時限 | | |
| | | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | 2 年生 |

主題と概要

1年生での「自己発見とキャリア開発」などの基礎的な科目の学修を受けて、2年生前期では大学の専門的な学修に向けての基礎を築くための演習を行います。この専門基礎演習では、具体的なテーマに基づいて、専門的な学修を進めるうえで必要となる基礎的な学修の方法を学びます。この科目は2年生後期以降に履修する「研究演習」の準備科目と位置づけられています。内容は、文献を読む、現実の経済や企業の情報を集め・整理する、自分で考え、教員や仲間と話をする、それらの人々と議論する、レポートを書く、発表（プレゼンテーション）する、等さまざまな方法で学修方法を習得します。そしてこの専門基礎演習はディプロマポリシーにある、学生の志望に応じて特定の専門分野を深く学ぶための能力を身に付けることに寄与します。自教員が演習のテーマを設定していますので、講義の参加に先だって確認をしてください。皆さんの興味関心に基づいて選択してもらった教員のクラスに配属されるように最大限の配慮しました。

到達目標

自演習のテーマにもとづいて、グループワーク、ディスカッションなどの協働作業を行うことができるようになる。文献講読、情報収集、調査、レポート作成、発表（プレゼンテーション）ができるようになる。その他、演習によっては独自の到達目標を設定しているため、担当教員が提示している目標を確認して演習に参加してください。

提出課題

課題の内容や作成形式等の詳細については各担当教員が授業中に示しますので、各教員の指示に従ってください。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題等のフィードバック方法は担当者によって異なります。各担当者からの説明に従ってください。

評価の基準

平常点、中間期、期末期のさまざまな課題によって、総合的に評価します。詳細については各担当教員各からの説明を参考にしてください。

履修にあたっての注意・助言他

担当教員の講義方針は様々です。担当教員が発する注意・助言を理解して履修し、学修成果を得るようにしてください。演習への出席は重視されます。やむを得ない理由で欠席する場合は、事前に担当教員と相談してください。

教科書

.使用しない。 .

参考図書

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

その他

担当教員が配布もしくは指示します。

授業計画

担当教員によって授業の内容や方針が異なります。担当教員の説明に従ってください。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

| | |
|--------------------------------------|--|
| ア：PBL（課題解決型学習） | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| ウ：ディスカッション、ディベート | エ：グループワーク |
| オ：プレゼンテーション | カ：実習、フィールドワーク |
| キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） | |

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

この授業科目は2単位ですが、2単位に必要な学修総時間は90時間と定められています。内訳は授業で30時間、予習・復習で60時間です（いずれも15回の授業あたり）。授業時間外で60時間の学修が達成できるように主体的・積極的に取り組んでください。予習・復習の内容は各クラスの講義内容によって異なります。担当教員の指示に従ってください。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この専門基礎演習はディプロマポリシーにある、学生の志望に応じて特定の専門分野を深く学ぶための能力を身に付けることに寄与します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

| |
|--|
| |
| |
| |
| |